

Q.飲む頻度別の飲用としての水道水10点満点評価は？ (0~10の整数を自由回答)

◇市販のペットボトル入りの水をよく飲む人は、水道水への評価が低い。

2013年より継続的に調査している「飲用としての水道水10点満点評価」を、市販のペットボトル入りの水を飲む頻度(3分類)別に見たところ、「ほぼ毎日飲む人」の平均は5.97点、「やや飲む人」は6.52点、「ほとんど飲まない人」は6.95点と、市販のペットボトル入りの水を飲む頻度が高い人の水道水評価の平均点が低く、「ほぼ毎日飲む人」と「やや飲む人」の点数は、全体の平均6.57点を下回りました。市販のペットボトル入りの水を飲む頻度と飲用水としての水道水評価の相関などを含め、今後の動向が気になるところです。

「市販のペットボトル入りの水」飲む頻度別
水道水10点評価(平均点)

ほぼ毎日飲む人 (N=354)	5.97
やや飲む人 (N=509)	6.52
ほとんど飲まない人 (N=637)	6.95
全体 (N=1,500)	6.57

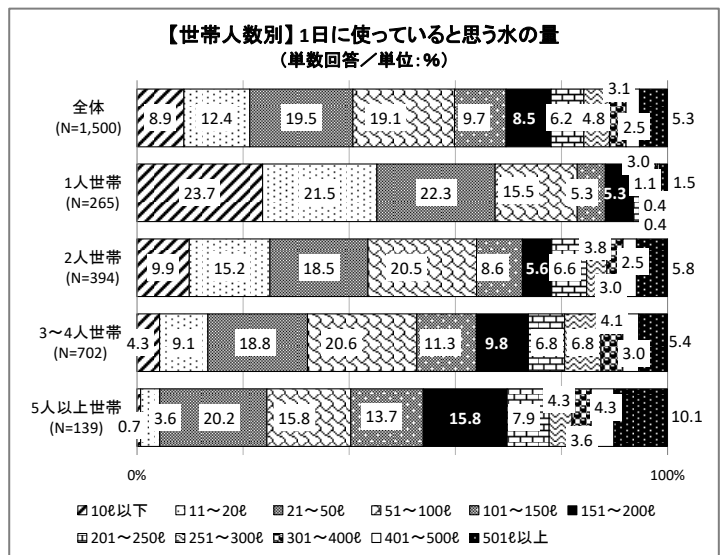
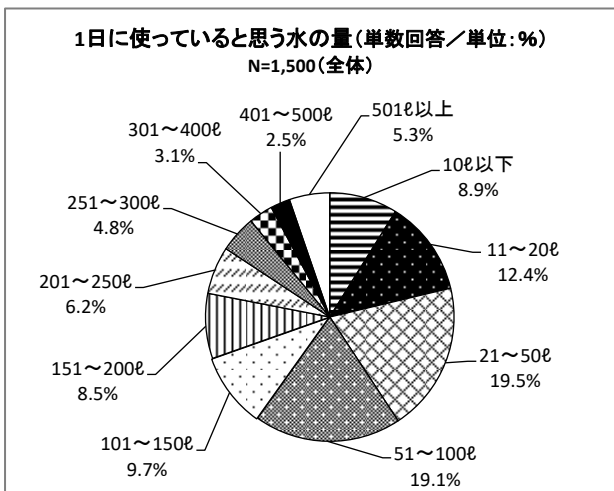
※全般的な水道水の10点満点評価は7頁参照

日常の水意識

Q.家で1日に使っていると思う水の量は？ (11択)

◇“200リットル以下”の回答者が約8割。

家庭において、自身が1日に使っている水の量はどれくらいだと思うかを聞いたところ、「21~50リットル」(19.5%)が最も多く、「51~100リットル」(19.1%)、「11~20リットル」(12.4%)、「101~150リットル」(9.7%)、「10リットル以下」(8.9%)、「151~200リットル」(8.5%)と続き、これらを合計した“200リットル以下”の回答者が全体の約8割(78.1%)を占めました。東京都の家庭で、1人1日あたりの水使用量の平均とされる約220リットルが含まれる「201~250リットル」を回答した人は、6.2%に留まりました。

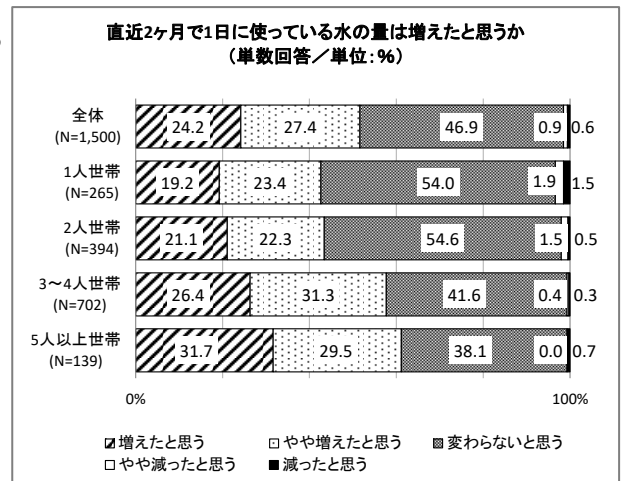


Q.直近2か月で、家庭で1日に使っている水の量は増えたと思うか？（5択）

◇増えたと思っている人が過半数を超える結果に。

コロナ禍によるステイホームに加え、衛生面への配慮なども影響？

本調査（6月上旬実施）の直近2か月で、使っている水の量は増えたと思うかを聞いたところ、「増えたと思う」（24.2%）と「やや増えたと思う」（27.4%）を合わせ、全体で半数以上の人が増えているという意識を持っていることがわかりました。これは、学校の一斉休校やテレワークなどにより、在宅時間が増えたことが大きな要因として考えられるのももちろんのこと、手を洗う回数の増加など衛生面への配慮意識も少なからず影響しているのかもしれませんが、また、世帯人数に着目してみると、増えたと思っている人（「増えた」+「やや増えた」）の割合は、1人世帯で42.6%、2人世帯で43.4%、3～4人世帯で57.7%、5人以上の世帯で61.2%と、世帯人数が多い人ほど高くなる傾向が見られました。



沖大幹先生による解説 ～Okī's View～ ①

【家庭での水の使用量】

皆様のご家庭では一日何リットルの水を使っているだろうか。

ここ数年恒例の質問である。回答では21 L～50 Lが僅差で51 L～100 Lを抜いて一位。質問からは家族全体でなのか、1人あたりなのかは不明だが、1人暮らしとしても、50 L以内に抑えるにはシャワーもたまにしか浴びず、洗濯や炊事なんでももちろんせずに、必要最小限のトイレと洗面だけ、といった暮らしをしないと難しいだろう。なんせ、シャワー1分で10 Lくらい、節水シャワーでも1分あたり6～7 Lである。トイレも最新型でない限り、1回流すごとに6 Lは使ってしまう。

細かく見ると、5人以上世帯でも一番多いのは21～50 Lであるが、1人世帯に比べるとたくさん使っていると答える方もいて10.1%の方々が50 L以上と回答している。

東京都水道局平成30年度生活用水実態調査によると、世帯人員ごとの1日1人あたりの使用量は次の通りとなっている。

世帯人員	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
世帯あたり使用水量(L/日)	273	530	690	837	917	1,117
1人あたり使用水量(L/日)	273	265	230	209	183	186

(東京都水道局平成30年度生活用水実態調査)

もちろん、平均以上の方も平均以下の方もいらっしゃるだろうが、1日に50 Lといったことはなさそうだ、ということがわかるだろう。ほとんどの方がどのくらいの量を使っているかまったく気にしていない、ということだろうが、それはそれで水へのアクセスをまったく心配なくてよい、幸せな日本の暮らしの反映なのだろう。

さて、ここで個人情報ばらしてしまうと、4人世帯の我が家の使用水量は昨年1年間の平均で1日約570 L、1人あたり約143 Lで東京都の調査結果よりはだいぶ少なかった。

ところが、今年の3月中旬から5月上旬の2か月の使用量は、昨年に比べて平均1日あたり48 L、1人あたり12 L多かったのである。これは昨年6回の検針ごとのばらつきと平均に基づいて計算すると偏差値にして75を越え、断トツに多い。

なぜこんな事態になったかを考えてみると、ちょうどこの時期、新型コロナウイルス感染症の影響で学校も急遽自宅待機となり、テレワークが始まって、家族4人が“Stay Home”していた時期に重なる。1人1日12 Lというと、トイレに行く回数が2回増えればちょうどそんな値に相当する。昼食も家で食べるようになるので、その分も考慮すると、もっと増えていてもおかしくはないが、外出して帰宅後手を洗う水量は減ったかもしれない。洗濯物の量も減ったので、それに応じて必要な水量も多少は減った可能性がある。

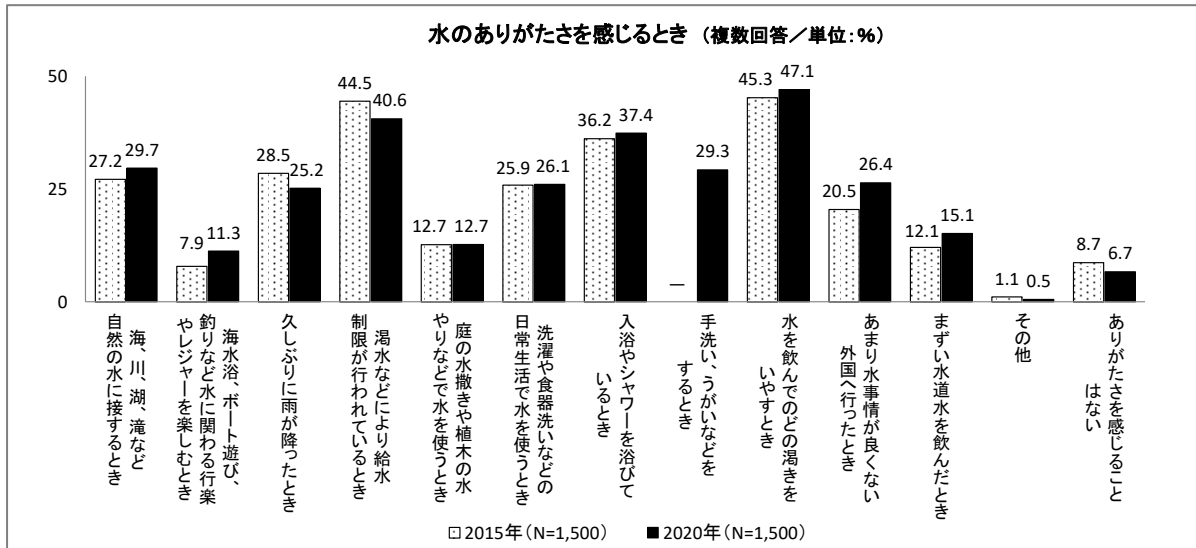
そんなことを気にするのはうちくらいかと思っていたら、アンケートを取った6月はじめからの直近2ヶ月で増えたかどうかを尋ねた設問に対して、増えたと思うと答えた方24.2%、やや増えたと思う方27.4%で、合わせて51.6%が増えたと感じていて、変わらないと思う方46.9%を上回っている。減ったと思う方は「やや」も含めて1.5%で、ほとんどいない、というのも興味深い。

東京の場合には1日50 Lは2ヶ月の水道料金にして千円にも満たない。しかし、水道への不満(8頁)として「水道料金が低い」をあげている方が毎年全体の1/3くらいいることから考えると、たとえ数百円の差だとしても、水道料金のお知らせは案外多くの人が見ていて、支払い料金が増えているのに気付いたのかもしれない。水の使用量の回答がずいぶん実態と違うことから、多くの皆さんは水道の使用量にはあまり関心がないが、料金に対しては真剣に注意を払っているということだろう。

Q.水のありがたさを感じる時は？（11択+その他+感じることはない）

◇「手洗い・うがいなどをするとき」は約3割。

水のありがたさについて、今回新たに「手洗い・うがいなどをするとき」の選択肢を加え、2015年以来の調査を行ったところ、1位「水を飲んでのどの渴きをいやすとき」（47.1%）、2位「喝水などにより給水制限が行われているとき」（40.6%）、3位「入浴やシャワーを浴びているとき」（37.4%）、4位「海、川、湖、滝など自然の水に接するとき」（29.7%）、5位「手洗い・うがいなどをするとき」（29.3%）となりました。約3割の回答があった「手洗い・うがいなどをするとき」については、この数値がコロナ禍でありがたさを実感したことによるものなのかを推察するには、継続的な調査で推移を注視する必要がありそうです。



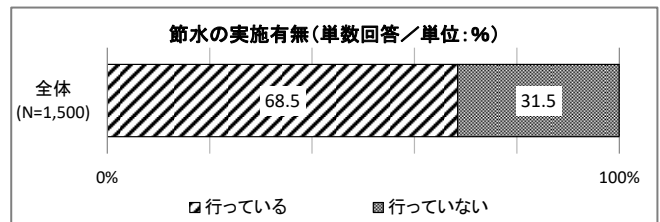
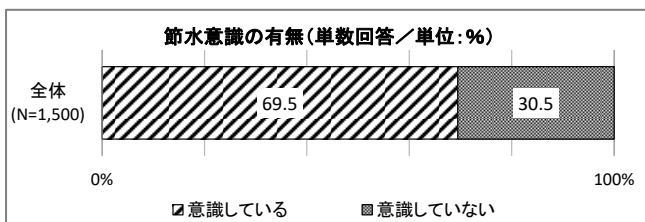
Q.節水を意識しているか？（2択）

Q.節水を実施しているか？（2択）

◇意識と行動、ともに7割近くの人が「している」。

節水調査については、生活者における節水への意識と行動の明確化を目的に、昨年より新たな設問で調査を開始しました。まず、節水を意識しているかについては、全体の7割近く（69.5%）が「意識している」と回答し、昨年（67.6%）とほぼ同様の結果でした。

節水の実施有無については、「行っている」に約7割（68.5%）の回答があり、こちらも昨年（66.7%）からの大きな増減はありませんでした。



水道水に関する意識

Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体、居住地別ともに平均点アップ。中京圏は再び7点台に。

水道水の10点満点評価は、一昨年に全体の平均点が7点台を回復したものの、昨年は6.67点に低下しました。今年の結果は、全体の平均が0.29ポイント増の6.96点となり、居住地別でも東京圏が0.32ポイント増の6.92点、中京圏が0.29ポイント増の7.07点、大阪圏が0.23ポイント増の6.87点と、いずれも上昇しました。